

こちら校長室

こころ

心

令和5年度



令和5年 10月 31日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

目を輝かせ 今を大切に生きる子

～しなやかに 夢中に 安心安全に～

ボランティア活動のこと～安心安全のために～

比叡山もいよいよ紅葉しはじめました。コロナも明け、山登りや修学院離宮に行かれる方が小学校の前を通るたびに「修学院という名前の小学校があるんですね。」と興味深げに校門の学校名をご覧になっています。4年ぶりに全校開催した運動会も無事に終わり、たくさんの地域保護者の方々に「運動会良かったです。」と仰っていただき、人が集まることで活気づくことの良さを改めて感じました。翌週は、インフルエンザやコロナなどの広がりもなく、今後も時間を限定し、場所にも配慮した全校開催も進めていけたらと思います。（と言いながら最近では学級閉鎖もあり、警戒が必要ですが…）

さて、登下校時に校区をボランティアで見守っていただいている見守り隊の方々とお話する機会がありました。そこで感じたことですが、見守り隊の方々には口々に「子どもの安全安心のため」とおっしゃってくださるところに地域子どもたちへの愛情を感じます。それに限らず、保護者や地域の方へも「信号が黄色になっていますよ」「自転車はこちらを通過してくださいね。」と安全の啓発をしていただいています。黄色のジャンパーや腕章などされて登下校時にボランティアで見守っていただいている方々（Team safetyや保護者の皆様も含めて）へ「ありがとうございます」「お疲れ様です」と声をかけていく方もいらっしゃいます。とても大切なことです。ありがとうございますの効果については以前からこの「心」（ホームページに掲載しています。）でも申し上げているところですが、ルールとマナーを大切に感謝を伝え合う修学院の雰囲気が高まることで風土が高まり、それが子どもたちへの教育に必ず生きていくことと思います。

その風土を高めていくためにも気を付けていかなければならないことは、地域を守ってくださる方々への尊敬と感謝を欠くことです。道いっぱい広がって歩いたり、自転車のマナーを守れなかったり、信号を守らなかったりというのは良くないですし、それに対する注意を聞かないことも問題です。交通事故は、ルールを守っていても起こり得る事です。（もちろん起こってほしくありませんが…）学校前の車のスピードは20キロ以下のはずですが、ものすごいスピードで通ることもあります。信号だけでなく車の動きにも気をつけながら渡るように毎朝「右左見てね」と声を掛けてくださっています。学校教育だけでは指導しきれない様々な場面における安全指導本当にありがとうございます。それが今の修学院学区の安全につながっています。これからも「ありがとう」がたくさん集まる修学院学区を目指し、子どもたちに良い影響を与えていきたいです。

安心安全のために今すぐできることはどんなことですか？